

七尾市の2010年の人口は、57,900人。1980年以降、減少の二途で歯止めが利きません。

七尾市では、目指すべき人口規模と目指すべき将来の方向性を示した

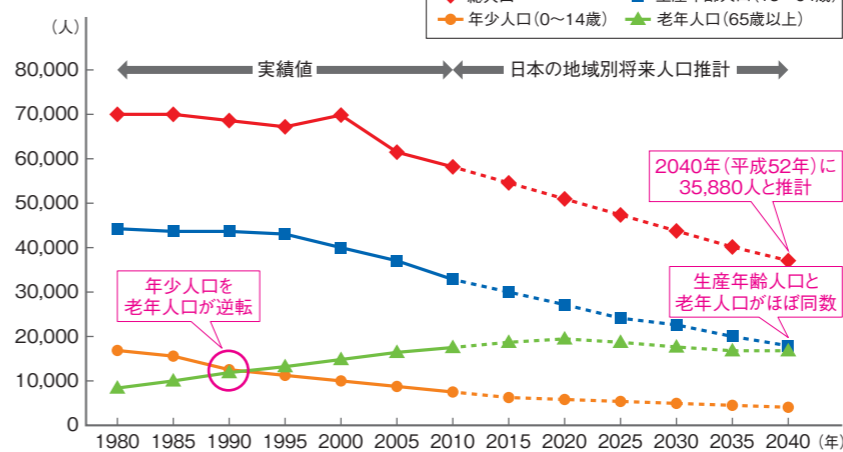
『七尾市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン』を策定しました。

## 七尾市の人口の特徴

- 1990年に老年人口(65歳以上)と年少人口(0~14歳)の逆転が生じました。
- 生産年齢人口(15~64歳)の減少も著しく、超高齢社会に突入しています。
- 死亡数が増加し、出生数を上回る自然減です。
- 10歳代後半~20歳代前半で大幅に転出する傾向があります。
- 転出・転入ともに、半数以上が県内の移動。金沢市に次いで中能登町が多く、県外では、東京・神奈川・埼玉などの関東方面が多くなっています。



七尾市の人口と年齢の3区分別人口の推移



※出典 ●実績値:国勢調査 ●「日本の地域別将来人口推計(平成25年3月27日)」:国立社会保障・人口問題研究所

## 七尾市の目指すべき人口規模

(目標人口)

2040年に、総人口約41,000人を  
目指します。

①出生率/2030年に1.80を実現  
(国民希望出生率と同率)

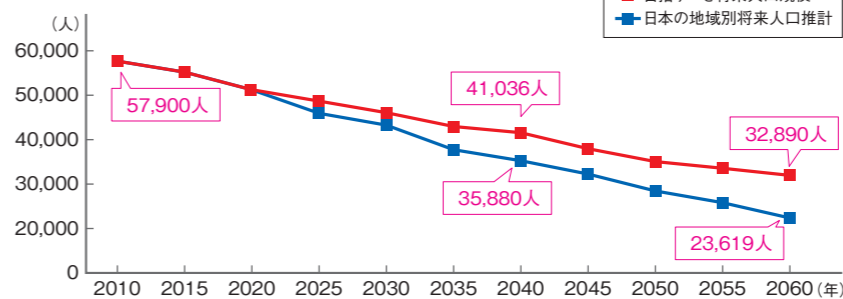
②純移動率/転出抑制と転入促進により  
2025年には転入と転出が均衡

## 目標人口の達成

- 人口の流出を抑制し、転入と転出の均衡を図ります。
- 出生数の上昇と高齢者を含む市民の健康が何より重要です。
- 魅力ある七尾市の居住環境や結婚・出産・子育ての条件を整え、安心して生活できることで、より多くの人が七尾市に住んで良かったと思えるよう、また、七尾市に住んでみたいと思えるようなまちをつくる必要があります。



七尾市の目指すべき人口規模



## 若い世代が希望する就労、結婚、妊娠、出産、子育てを実現する

若い世代が誇りを持って七尾市に住み、安心して働き、希望どおり結婚、妊娠、出産し、夫婦協働で子育てができる社会を実現します。

七尾市ですくすくと育った子どもたちが、一時は都会に出て、生まれ、育ち、かけがえない思い出が刻まれた七尾市に戻りたいと思えるような社会を実現します。



## 目指すべき将来の方向性



## 東京や金沢への大量の人口流出に歯止めをかける

豊かな自然と食材が豊富で生活しやすい七尾市に住み、働き、心豊かな生活を送りたいとする人。東京や金沢にないスローで心癒される時間の流れに慣れ親しみ、満足度の高い生活を送りたいとする人など、より多くの人を受け止める社会を実現します。

周辺自治体との連携を深め、能登の中核都市として住みたい、住み続けられるまちづくりを目指します。



## 人口減少・超高齢社会など時代を見据えた都市を構築する

人口減少や超高齢社会など、七尾市の中長期的な人口展望を踏まえつつ、機能的・効率的で、かつ持続可能な都市基盤を構築するとともに、都市施設や地域固有の資源などの活用を効果的に行っていきます。

地域社会を構成している人々が互いに支え合い、安全で安心して、健康で快適に住み続けられる社会を実現していきます。

## 市民アンケート

### 《結婚・子育て世代・学生》調査結果

#### 居住条件として

自然環境や景観の維持、治安、通勤・通学の利便性が確保されていることのほか、日常生活(買い物など)、子育て環境、医療や福祉の充実が必要。活気ある商店街や娯楽施設の充実。

#### 結婚条件として

相手を理解しながら、支え合い生活できる夫婦協働の考え方が重要。安定した収入がある。働く場があることが必要。

#### 出産・子育て条件として

出産費用の援助や児童手当、保育所の費用負担の軽減など経済的な支援のほか、出産後も働ける雇用の場の確保や雇用条件の充実、周辺環境の整備が必要。

## 市民アンケート

### 《転入者》調査結果

七尾市は自然環境や治安が良く、災害が少ない住みやすい居住環境であるが、日常の買い物や通勤・通学が不便であり、定住のためには働く場の充実、交通の利便性向上、医療・福祉の充実が重要。

